記入年月日

令和 2年度

事務事業評価表(令和元年度 の実績評価)

	13-10 2	. 1.2						13-1070	F/3C 022		台	和 2 年	4 月 16 日	
	事務事	*学夕	田也	中山外首	들 등호 나라 되	1.(고 /코호	·····································		事業区分			担当		
	争物争	未包	国相	正文则是	至规则	计不计量	三川 尹未		新規	/継続	継続 事務事業No.		020501000896	
	政策体系上の位置付け								単独	/補助	補助	所属課	090601	
Ľ		合計画の施策名		0205		文化財の保存活用							文化財課	
贫		政策名			きがいる	を育む	学びのまちづくり					課長名		
12		施策名)5 文(化財の	呆存活用	刊					グループ	文化財G	
弄	Ŕ Tana	手段名			文化財の							担当者名		
	財務会計上の位置付け								事業期間					
	予算科目	会計 款	項		事業	細	一般会計		单	単年度繰返し	, ,	Z成 9 年度~	/	
		01 10	06		01	00	史跡等保存整備署	事業		期間限定	Eの場合、総	投入量を(3))投入量の右側に記入	
	法令根拠	文化財保護	法、史	弥直壁t	成跡整備	#検討す	50000000000000000000000000000000000000							

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

国指定史跡真壁城跡の保存整備及び啓発を目的とした事業。

国指定史跡具壁城跡の保存整備及び啓発を目的とした事業。 史跡真壁城跡地内の発掘調査及び発掘調査報告書刊行を実施した後、調査成果 を真壁城跡整備検討委員会で協議し、保存整備工事内容を決定する。保存整備 工事は地形の保護・復元、遺構表示、園路舗装等を実施。 保存整備事業は外曲輪(外周部)から本丸(中心部)へと進める。 8発業務は発掘や工事の成果を公開活用し、観光と教育普及活動等を実施する。

る。 事業費の内訳 史跡保存整備 国庫補助金(対象経費の1/2)及び市費 啓発業務 予算なし

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

史跡真壁城跡整備検討委員会を開催し、決定事項にしたがって整備工事及び発掘調査を実施する。計画はH27年度史跡真壁城跡整備基本設計に 基づくものとする。

保存整備工事:中城の復元整備 発掘調査:中城発掘調査 啓発業務:発掘調査現地説明会、城跡案内、研修会、発掘体験、職場体

			日7t未3/3	37 #76 0										
(2)	事務	事業の手段・対象	意図と各指標	票、指標値の推	多								
(1)手段 (担当者の活動内容)				(名) (活動量を表す指標)				単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
		• •			©72233218K				- '-	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<u> </u>	·-	04140	*********	+	発掘調査面積				m¹	500,00	600,00	600,00	600,00	600.00
定	姉真壁城跡整備検討委員会を開催し、決事項にしたがって発掘調査及び整備工事実施する(保存整備)。				保存整備面積				m²	4,300.00	3,110.00	1,000.00	0.00	0.00
整個	備事		成果について公開	活用をおこな	展示・歴史講座の回数					30,00	2.00	15.00	15.00	15.00
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				展示・歴史講座の参加人数				人	1,380.00		450.00	500.00	500,00
2	対复	Ř (1	誰、何を対象にして	(いるのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)				単位	30年度 (実績)	〇1年度 (実績)	O2年度 (計画)	O3年度 (目標)	O4年度 (目標)
声 β共成 0.★ (/口 左 南 / 进)					真壁城跡面積				m [*]	125,251.00	125,251.00	125,251.00	125,251.00	0.00
真壁城跡(保存整備) 市民、観光客、児童・生徒、研究を 発)				研究者(啓	桜川市の人口				人	41,008.00	40,738.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
,										0.00		0.00	0.00	0.00
3	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)			⑥成果指標 (対象における意図の達成を表す指標)			^{或度} 単	単位	30年度 (実績)	O1年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	O4年度 (目標)	
発:	屈で		シップラー 的資源価値を高め	、 復元工事に	発掘調査完了面積				m²		33,973.00	(3.2)		
整	より、保護・公開・活用促進する。 (保存整備)				保存整備完了面積				m²	36,458.00	39,568.00	40,568.00	40,568.00	40,568.00
	真壁城の公開活用による知識・興味の向上 (啓発)			参加人数の前年度比較(増減)				人	60,00	-1,130.00	200.00	50.00	0.00	
((3) 投入量(事業費)の推移			30年度 01年度 (実績) (実績)				02年度 (計画)					胴限定 総投入量	
	国庫支出金千円			43,20		55,732			,683			110	0	
		財	県支出金	千円		0	0			0				0
投	事	源内	地方債 使用料・手数料	千円千円		0	0			0				0
		訳	で用料・子数料	千円		0	0	1		0				0
入		U/ C	一般財源 千円		48,80	•	61,197		24	,860				0
	事業費計(A)			千円	92,008		116,929			6,543				0
	正規職員従事人数 人			3.00人 3.00人			3.00人							
量	F													
													-	
	O1年度事業費 実績(千円)								O2年度事業費 予算(千円)					
	01 報酬 108						01 報酬			16 原材料費	Ĩ	104		
事	04 共済費 42 07 賃金 13,617						03 職員手当等 04 共済費		2,075 65					
業	07 頁面 13,617 09 旅費 537						04 共済實 08 報償費		612					
費	11 需用費 1,165 12 役務費 39						09 旅費 11 需用費		475					
の									1,208					
内訳	13 委託料 25,916						12 役務費		19					
٥٨	14 使用料及び賃借料 958						13 委託料		6,138					
	15 工事請負費 74,448								び賃借料	504				
	16 原材料費 99			合 討		116,929	15 I	事請負	費	20,361	合	計	46,543	

				(桜川中行政評価ンステム)									
事務事業名	国指定史跡真壁城跡保存整備事業	事務事業№.	20501000896	所属課生涯学習課									
平成6年に国指定に	始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたなり、保護・活用を図るため、平成9年度から国庫祥 に時間と費用がかかっている。啓発業務は、長年の記	助、県費補助を受け	て開始。発掘が進み、調	査効率は向上したが、庭園規模が									
	して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者 の公開・活用を望む。真壁伝承館歴史資料館をはじる ある。												
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。												
		項 目											
び政策体系との整合 革 満に続いている	性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?) 真壁城跡の保護と活用に繋がり、桜川市の規		ぎびついているか?)										
善 を ② 公共関与の妥当性 行	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 国指定の市有財産であり、歴史景観をわかりやすく復元して価値を高め、茨城県を代表する城郭遺跡として、最大限活用する												
受当である ③ 成果の向上余地	<u>妥当である</u>												
向上余地がある													
有	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)												
性													
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)□ 具体的な手段、事務事業名												
余地がない	(余地がない) 類似事業は無い												
の	削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか <i>'</i>	?やり方を工夫して延	近べ業務事業を削減できな	:いか?)									
性 削減系地がない	必要最小限で行っている												
② 受益機会・費用負 平 性 公正・公平である		いて不公平ではないか。	?受益者負担か公平・公正に	なっているか?)									
【Plan】 3. 評価結果	果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反服 との総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反服												
(1) 1次評価者とし ①目的妥当性 ②有効性 ②効率性 ④公平性 ■	平成27 適切 □ 見直し余地あり 発掘調 適切 ■ 見直し余地あり → 調査が	査は庭園の範囲が大き できた。	設計をもとに発掘調査と きく、全体像の解明は完了	整備工事を進めた。 としていないが、庭園西部の園路等の などの復元工事を完了した。									
(3) 今後の事業の方向 □ 終了 ■ 紙 □ 廃止 □ ℓ	(複数 迷続 → ■ 改革改善を行う ← □ 目的 ■ 有効	回答可) の再設定		(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加									
(5) 改革, 改善を実	R語 プロ 既秋神行		1 E11311 CCO J	<u></u>									
課題: 史跡真壁城跡の庭園範囲が想定よりも拡大しており、全体像の解明に時間がかかっている。 また真壁城跡以外の埋蔵文化財試掘・発掘業務が急増しており(高森、山尾北田、民間開発)、史跡担当者2名は複数の現場をかけもちで担うため、真壁城と他埋蔵文化財業務の進捗がはかどらない事態となっている。 上記状況から、史跡真壁城跡保存整備基本設計(H27)は工程・内容の大幅な見直しが必要となっている。													
解決策: 業務に集中処理できる体	/ タントロ ス ク	7 /=++10 - 05+10\	8.ノートが小田	(6)事務事業優先度評価結果 ①									
(1) 課長評価	なび改革改善に向けての指摘事項 (2) 部長確認及び評	価 (課長評価により、(C、D判定及び確認が必要な場合)									
課長確認後の評価	(現状維持) C:終了、廃止、休止	建記機											
	改革改善を行う) D:2次評価へ提出												